



メールマガジン

2007年4月号 (Vol.2 No.4)

2007/4/26

目次

○ トピックス

中国元日本留学生組織情報交換会 開催
柳原正治理事一行は北大、人大、北航 歴訪
日本留学説明会及び日本教育科学技術交流会に参加
九州大学北京事務所成立一周年 座談会及び懇親会 開催
九州大学事務所に遠隔テレビ会議システム 導入
日本学術振興会北京連絡センター開所式 開催

○ 九大人

北京科技大学長江学者 楊槐

○ 中日最前線

○ Q-ナビ

メールマガジンへの寄稿

去年4月に九州大学北京事務所の設置に伴い、事務所の情報発信手段として、本メールマガジンが創刊されました。さまざまな不安材料を抱えての船出でしたが、今では約数千人の方々に毎月配信するまでになりました。これらも、ひとえに皆様のご支援のおかげでございます。

この一年を繰り替えて見れば、本メールマガジンは皆さんの期待に答える情報交換の機能を果たしてきたわけではありません。情報収集、編集の力が不足で、作業が追いつかないため、提供した情報の量が少ないのみでなく、未完成なまま掲載してしまった記事も数多くあり、反省することしきりです。

年が改まるというのは、単に時間が経過したにすぎません。しかし、時間が経過したということは、いつまでも進歩なしままで許されるわけではないと受け止めています。今年は、「九大人」、「中日最前線」、「ミニリサーチ」、「Q-ナビ」などのコーナーを設け、皆様からの情報をお募りしながら、本メールマガジンの内容を充実することを図っています。この目標を実現するため、事務所一丸となって努力してまいりますので、読者の皆様も是非とも応援のほどよろしくお願いいたします。

ご寄稿くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛にお送りください。電子ファイルを添付していただくと、編集が効率的にできます。お読みになってのご意見やご感想をもお待ちしております。

編集代表者：九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発 行：九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住 所：〒 100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号铸诚大厦 B座2008室
電 話：+86-10-5158-1387 ファックス：+86-10-5158-1367
メー ル：peiking_office@yahoo.co.jp (日语)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

■ トピックス ■

1

中国元日本留学生組織意見交換会 開催

2007年3月30日(金)から31日にかけて、元日本留学生組織との連携及び各組織のネットワーク強化を図るため、中国本土における元日本留学生組織の意見交換会が日本大使館文化センターの主催で二十一世紀ホテルにて開催され、特に、本年が国交正常化35周年(日中文化スポーツ交流年)であり、また、来年が平和友好条約締結30周年であることから、元日本留学生組織に対し活動の活発化を促すことになっている。

意見交換会には、欧米同窓会、日本留学学人活動センター及び天津留学人員交流会日本留学分会、上海欧米同窓会日本留学生分会、重慶市元日本留学生同窓会、黒竜江省欧米同窓会、吉林省日本留学専門委員会、遼寧省日本留学同窓会、大連市中日友好同窓会、チンタオ日本留学同窓会、四川日本同窓会、広東日本留学同窓会、広西留学人員同窓会日本留学分会など代表者が出席した。また、日本大使館及び日本国駐上海総領事館、重慶総領事館、瀋陽総領事館大連駐在事務所などの館員や、日本国際交流基金、JICA、JSPS、JST、NEDOなどの各関連機関や日本の大学の北京事務所の代表も参加した。徐宗学副会長が九州大学北京事務所及び在中国九州大学同窓会を代表としてこの意見交換会に出席した。

意見交換会では、井出敬二公使が今回の意見交換会の主旨などを説明し、出席組織の代表はそれぞれの組織の運営状況、これまでの活動実績、2007年の活動計画などについてプレゼンテーションした。さらに、元日本留学生の状況、元留学会の活動の今後の方向性及び2007年に向けて取り組むべき課題などについて、広く意見交換を行った。李賛東副会長は在中国九州大学同窓会の活動内容及びこれからの活動の方向性などについて説明した。



2

柳原正治理事一行は北大、人大、北航 歴訪

4月12日から13日にかけて、九州大学柳原正治理事をはじめ、留学生センター郭俊海準教授、国際交流推進室国際戦略の松川耕三係長の一行三人及び北京事務所の宋敏所長は、北京大学、中国人民大学と北京航空航天大学の三つの大学を歴訪した。

4月12日の午後、第一番目の訪問大学中国人民大学で紀宝成総長と会談し、「国家建設高水準大学留学生派遣項目」による学生交流の拡大、及び両校間における教員交流の強化などについて意見交換を行った。続いて、陳雨露副学長及び唐忠国際交流処長等との会談では、双方における学生や教員交流の体制整備、プログラム充実、推進体制の円滑化などについて話し合った。

トピックス

4月13日昼の北京大学の訪問では、林建華北京大学常務副学長と会談し、双方における学生交流の促進などについて意見交換を行った。会談には、李岩松総長補佐及び国際交流合作部長、潘慶徳国際交流合作副部長及び李洪権交流弁公室主任が参加した。会談後、柳原理事一行は北京大学での日本大学留学説明会にも出席。その後、北京航空航天大学の唐曉青副学長の招きにより、柳原九州大学理事と宋敏北京事務所長とは、日本教育科学技術交流会に出席した。交流会では、柳原九州大学理事が九州大学の国際交流について講演した。その後、唐曉青副学長と会談し、学生交流及び学術交流の強化などについて意見交換をした。会談には、吳曉潞北京航空航天大学国際交流合作処長、杜孝平九州大学北京事務所副所長等が参加した。



紀宝成総長への表敬訪問



林建華副学長との会談



唐曉青副学長との会談



北大キャンパスで学生との懇談

3

日本留学説明会、日本教育科学技術交流会に参加

中国政府の「国家建設高水準大学留学生派遣項目」の歩調を合わせ、中日大学の相互交流と協力を強めるため、日本留学説明会は4月13日午後3時より北京大学英傑交流センターで行われた。説明会では日本大使館の横井理夫一等秘書官が日本政府の奨学金、留日申請手続き及び在日生活などについて説明した。東京大学を始め、早稲田大学、大阪大学、九州大学などの十大学が会場でブースを設け、各大学の留学制度などについて説明し、学生から寄せた質問に回答した。九州大学の柳原理事、留学センター郭俊海準教授、国際交流推進室の松川耕三係長、及び北京事務所宋敏所長等はこの説明会に参加した。

■ トピックス ■

また、4月13日午後、九州大学柳原正治理事が北京航空航天大学にて開催された日本教育科学技術交流会にも参加し、九州大学の国際交流についてプレゼンテーションした。



北航でのプレゼンテーション



北大での留学説明会

4

九大北京事務所成立一周年 座談会と懇親会 開催

春らしい陽気な日が続き、咲き乱れる花が錦のように美しい季節に、九州大学北京事務所は成立一周年の記念日(4月14日)を迎えた。

午後四時より、北京事務所にて九州大学柳原正治理事一行と北京事務所のスタッフ全員との座談会が開かれた。座談会では、事務所を設立してからの歩きを振り返り替えて見ながら、今後の活動の方向性などについて深く検討した。特に、中国の「国家建設高水準大学留学生派遣項目」の実施をきっかけに、中国からの留学生の受け入れ体制の整備などについて意見交換を行った。また、ダブルディグリーなどの留学プログラムや学部留学生の受け入れの可能性などについてもディスカッションした。座談会が終わった後、事務所スタッフが柳原正治理事一行を囲む懇親会を開催。



事務所での座談会



事務所スタッフとの懇親会

■ トピックス ■

5 北京事務所に遠隔テレビ会議システムを導入



来年度開始する予定の遠隔授業に必要な設備を整備するために、このたび、北京事務所に遠隔テレビ会議システムを導入した。このテレビ会議システムは遠隔授業のみでなく、遠隔セミナーの開催や、留学生の受け入れのための面接やスクリーニングなどへの活用も期待している。

6 日本学術振興会北京連絡センター開所式 開催

4月20日、日本学術振興会(JSPS)北京連絡センターの開所式が北京で開催。九大事務所の宋敏所長と徐環李副所長がこの開所式に出席した。

日本学術振興会北京連絡センターは2003年に準備室を開設、2007年に法人化への登記手続きを終え、この度正式的に設立し、JSPSの協力協定などを締結している中国の学術振興機関などとの連携、日本の最新研究分野を紹介する学術フォーラムなどの実施、日本の大学の海外活動展開への協力・支援、フェローシップなどのJSPS事業経験者のネットワーク構築、日本の学術情報の発信及び中国における学術動向・大学改革等の情報収集などの業務に当たるとしている。



開所式会場の一角



レセプション会場の様子

■ 九大人 ■

時計の針が止まらず
歳月がここに留まる
九州大学北京事務所
九大人がここにいる

本コーナーでは、ミニ事典、現場直撃レポート、インタビュー、奮闘記などの側面から、九大OB及び九大の先生や教職員を描きます。人選は事務所で選ぶと同時に、ご紹介になりたい方も募集。投稿はE-mailでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不相当と思われる内容は掲載しません。

楊槐

☆☆☆☆☆

北京科技大学教授
博士指導教授
長江学者

三人行えば必ず我が師あり



足跡

1985年-1989年	吉林大学学士
1989年-1992年	吉林大学修士
1992年-1994年	吉林大学博士
1994年-1996年	日本九州大学工学部の中日共同養成博士
1996年-1998年	日本九州大学工学部訪問研究員
1998年-2002年	日本科学技術振興事業団福岡工業科学技術振興財団ポストドクター研究員
2002年-2003年	日本科学技術振興事業団研究員
2003年-至今	北京科技大学教授、博士指導教授
2004年11月	教育部「長江学者奨励計画」客員教授

インタビュー

Q1、九州大学在学中、印象深いことは何でしょうか？

A1：九州大学について、印象深いことは二つあります。一つは九大の教員たちの謹厳な研究態度です。九大で勉強している間、指導教官Kajiyama Tisato教授と副指導教官の菊池嗣裕教授は社会的重要な職務を担当しながらも、学生への厳しい指導を滞らせることは一度もありませんでした。二人の先生とも、色々な時間を利用して学生に身を持つ道理を教え、心血を注いでいました。もう一つは、日本人の学生の留学生への熱情と友好です。九大に着いたばかりの時、日本語が分からなくて、もしあの時、日本人の学生から親切な助けがなければ、きっと苦境に陥ったに決まります。この場を借りて同級生の山根大及び研究室のクラスメート達には、こころから感謝の意を表し、永遠に彼らの親切な友好な援助を忘れられません。

Q2、励ましを得られる言葉、あるいは名言とかありますか？

A2：三人行えば、必ず我が師あり。

Q3、若い長江学者として、一日中の生活の手配はどのようにしていますか？趣味とかありませんか？

A3：朝5時に起きて、電子メールをチェックし、返信する；6時半に朝ご飯；7時半に事務室に着き、日常事務を処理する。授業と学生の実験指導；12時に昼ごはん；13時から学生の卒業論文と学術論文を添削する；18時に晩御飯；19時から項目申請書や項目研究進展状況などを書く。

Q4、校友たちに何か伝えたいことがありますか？

A4：われわれの人生は九大と緊密に繋がっています。九大の留学生であるということは自分の誇りとしています。

■ 中日最前線 ■



ようこそ！中日最前線は、今月の焦点、流行傾向、最新動き、注意喚起などのテーマで、さまざまな記事やニュースを収集し、みなさんにお届けします。さあ～お読みになってのご意見、ご感想やアドバイスをお待ちしています。

最新動き

中国における第6次鉄道高速化

中国の鉄道網は2007年4月18日、第6次高速化を正式に全面実施される。中国鉄道はこれまでに、5回にわたる全面高速化を実施、旅客列車の最高時速は160キロメートルに達した。今回の大規模な高速化では、既存の幹線で最高時



速を200キロとする高速化が行われるほか、条件を満たし一部の路線では最高時速250キロが実現する。

http://j.peopledaily.com.cn/zhuanti/Zhuanti_289.html

日本企業の動向を中国語で発信するサイト、「日本頻道」が開設

中日新聞事業促進会によると、中日両国の経済界の相互理解を強め、両国の経済、貿易関係の協力を一層進めるため、中日新聞事業促進会と日本の新泰株式会社が4月6日から、中国語ネット利用者に向けて、日本企業の最新動向を中国語で伝えるウェブサイト「日本頻道」(日本チャンネル<http://www.cjnews.cn/cj/index.htm>)を正式に立ち上げた。

<http://japanese.cri.cn/341/2007/04/17/1@91569.htm>

今月の焦点

相互信頼を強め、友好を深めた ——温首相の「氷を溶かす旅」

日本政府の招きに応じて、中国の温家宝首相は11日午後、東京に到着し、日本に対する公式訪問を始めた。これは中国の首相の7年ぶりの日本訪問となる。去年10月、安倍首相の「氷を割る旅」は、中日関係が政治面での行き詰まりを打開したことを意味しており、温首相の今回の「氷を溶かす旅」は、中日指導者の相互訪問を実現し、両国関係に新たなスタートを切り開き、国民の中日関係への自信を強めることができた。



<http://japanese.cri.cn/151/2007/04/14/1@91408.htm>

★ トレンドキャッチ ★

2007年上海国際モーターショー —「人・車・自然の完全な調和」

http://j.peopledaily.com.cn/2007/04/23/jp20070423_70357.html



中日ファッション界、手を携えて世界に発信へ

<http://japanese.cri.cn/341/2007/04/02/1@90283.htm>



注意喚起

教育部は中国と海外と協力して学校を運営する秩序の規範化についてのお知らせ(公表)

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/level3.jsp?tablename=603&infoid=27357>

目前、日本が中国に向けて開かれる留学プロジェクト

<http://liuxue.eol.cn/article/20060302/3176178.shtml>

2006年度各分野の留学人数統計結果公表(教育部統計による)

<http://www.jsj.edu.cn/dongtai/048.html>

■Q-ナビ■



Q-ナビコーナーは、情報カレンダー、今月の見どころ、九州知恵袋、旬の味等のテーマで、九州大学、九州などを中心として、日本と中国に関する情報を発信します。皆さんにも役に立つ情報を募集致します。寄稿は、e-mailにてお送りください。

情報カレンダー

- 4月10日 第四回(平成19年度)日本学術振興会受賞候補者推薦要項を掲載
<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/index.html>
- 4月16日 2007年一部の奨学金プログラムの補足、選抜のお知らせ
<http://www.csc.edu.cn/gb/readarticle/readarticle.asp?articleid=2541>
- 4月17日 財団法人大塚敏美育英奨学財団が2007年奨学金を募集開始【5/31(木)締切】
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/news/view-news-detail.php?id=162>
- 4月17日 平成19年度私費留学生のための奨学金情報を更新しました
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/student/page1-34/page012.htm>
- 4月23日 2007年“IBM中国优秀学生奖学金”、“IBM中国优秀学生巾帼奖学金”项目遴选工作开始
<http://www.csc.edu.cn/gb/readarticle/readarticle.asp?articleid=2543>
- 4月20日—5月21日 平成19年度NEDO研究協力事業を公募
http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190420_3/190420_3.html
- 5月14日 2007海外ハイレベル人材5月14日举行网络招聘会
<http://www.chisa.edu.cn/chisa/szxr20/netjob.html>
- 5月31日 財団法人大塚敏美育英奨学財団が2007年奨学金の締切り
<http://www.otsukafoundation.org/guide.html>

グルメ



こんな晴れる日に、お子さんの遠足とかのためにお弁当を作った経験が皆さんにあるでしょう。今、帰国したおたちもその思い出を頭に浮かぶ時、きっとすごく懐かしい感じをいっぱい身に沁みているでしょう。これらの写真を見たら、日本での生活ぶりをパート思い出すじゃない。

ゴールデンウィーク特集

ゴールデンウィークにドコへ旅行に行くかな？

さあ、普段のストレスをゴミ箱に放り込み、のんびりしたり思う存分に遊びましょう。その時、大自然の風景を十分味わいましょう。

- 中国の一番持てる十個旅行都市の発表
<http://post.baidu.com/f?kz=81490915>
- 2006年ゴールデンウィーク中国のお勧めの10箇所
http://www.bigoule.cn/mrds-info_detail.asp?id=7452.htm
- 北京2007年ゴールデンウィークのお勧めの105箇所
http://gzslw.atx03.idc800.net/xxjl/luzg/200704/23007_4.html
- 日本国海外旅行の調査分析についてこちらへどうぞ
<http://news.octravel.cn/news/yanjiu/2006-10/2/122521365.html>

